

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2003 年 6 月 17 日

2003 年 6 月 15 日現在：

6 月 15 日に終わる週も、気温は平年を上回り、小麦主産地区である北中央地区（NC）では全く降水が記録されなかった。しかし、ウイラメット盆地の平均気温は平年を多少下回り、散発的な降雨があった。1 週間の州平均農作業稼働日数は 6.8 日（前週 6.9 日）であった。土壌水分は前週に引き続き低下した。

Sherman 郡冬小麦は水分不足の症状を示しだした。Umatilla 郡では高温と強風が土壌水分を急激に減少させた。Blue Mountain 山麓の小麦圃場を除き、多くの圃場で小麦が水分不足の兆候を示した。Wasco 郡に於いても高温と強風の為、土壌水分が急激に減少した。

6 月 15 日現在、冬小麦の 88%が出穂した（昨年：94%、平年：87%）。高温の為生殖成長が早り、小麦の作柄は前週より多少悪化した。高温・乾燥の為単位収量の減少が心配される。

春小麦は 61%の圃場で出穂した。小麦は最も土壌水分を必要とする時期である。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	9	46	44	1
Subsoil (%)	19	31	48	2

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr Average
Spring wheat Headed (%)	61	—	—	—
Winter wheat Headed (%)	88	75	94	87

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	5	28	40	25	2

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

6 月 1 日付け農務省発表の冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				May 1	June 1		
Oregon	710	940	41.0	53.0	53.0	29,110	49,820

当該作柄レポートに関するご質問・ご意見は下記宛てにお願い申し上げます。

小川正晃：E-Mail ogawa.max@omicnet.com

以上